

とどろき利治の

メン!!

国会 一本勝負

プレス民主 号外 《発行元》民主党参議院比例区第5総支部

轟木利治事務所 参議院議員会館 518 号室 Tel:03-3508-8518/Fax:03-5512-2518

ご安全に、とどろき利治です。初登庁から1年5カ月が経ち、議員としての活動も何とか板につくようになってきました。これもひとえに皆様方から頂いた力強いご支援のおかげです。本当にありがとうございました。

早いもので、今年も残すところ2週間余りとなりました。臨時国会は年末まで延長されていますが、働く者の雇用と生活は厳しさを増しており、国会と国民生活との間のギャップに歯がゆい思いをしています。今年最後のニュースでは、7月以降半年間の活動経過をまとめてみました。

この半年間は・・・**(1) 臨時国会開くも、解散・総選挙先送り**

9月臨時国会ですぐに解散・総選挙と思っていましたが、内閣支持率は急落し、今や麻生総理は解散することもできない有様です。「政局より政策」と言っていますが、追加経済対策の裏づけとなる法案を臨時国会に出さないのは国民への背信行為です。

(2) 環境委員会で大臣に質問

11月に環境委員会で大臣に対して、二酸化炭素「国内排出量取引制度の試行的実施」について質問に立ちました。この制度にはマネーゲーム化される要素が沢山あり、今後とも排出の抑制に取り組んでいる者の努力が評価されるよう追及していきます。

(3) 基幹労連とともに省庁申入れ

7月に基幹労連三役や高木、柳田、辻議員とともに、経済産業、環境、防衛、国交の各大臣に産業政策の実現に向けた要請を行ないました。それを補完する形で12月には事務レベル要請を行ない、各省担当部局から追加的なコメントを受けました。

(4) ODAの実情を現地調査

8月に政府開発援助(ODA)現地調査のためにラオス、タイ、カンボジアを9日間のきつい日程で訪問しました。「日本のODAが効果的に使われているのか」がテーマで実情を見てきましたが、中でもカンボジアの灌漑施設では感謝されました。

(5) 国政フォーラムで環境対策について製鉄所見学

9月に基幹労連の国政フォーラムとして、地球温暖化防止をテーマに新日鐵君津製鉄所を見学しました。参加した各議員からは、「現場がいかに努力しているか、実際に見てよく分かった」との評価をいただきました。

(6) 大会挨拶、学習会に出向く

基幹労連関係を中心に、9月以降だけでも延べ11県本部、29加盟組合にお邪魔させていただきました。せっかく声をかけていただいたのに伺えなかった皆さんには申し訳ありませんでした。今後とも時間の許す限り伺いたいと思います。

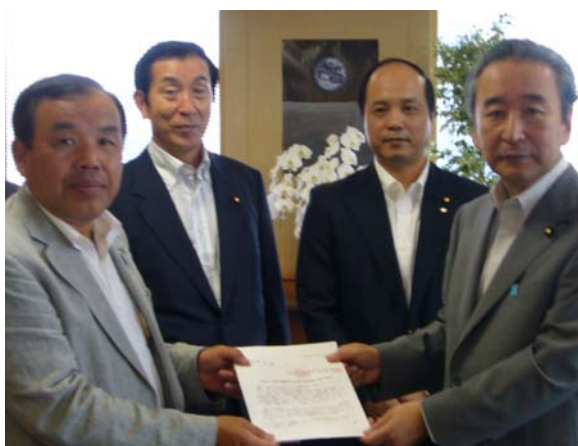
(7) 沢山の来訪者

数多くの方が議員会館に足を運んでいただき、ありがとうございました。これからも気楽にお越しください。お待ちしております。

来年に向けて・・・

自公政権は末期症状です。雇用と生活の基盤を安定させ、将来への希望を取り戻すためには政権交代以外にはなく、私も全力を尽します。また、今年は民主党の政策全体にこれまで以上に深く関わります。ものづくり産業がより元気になり、真面目に働く者が報われる社会を作るために、皆さんの声をきちんと国政に届けます。

2009年が皆様にとって良い年となるよう祈念いたします。



基幹労連とともに省申し入れ



国政フォーラムで製鉄所環境対策見学会



カンボジアでODA現地灌漑施設調査



環境委員会で大臣に質問